

令和元年 第174回 春季大祭

# 芽生えの大祭にて万霊に感謝の祈りを捧げる

新帝陛下の御即位と、令和という新時代の始まりを奉祝する第174回春季大祭は、5月8日には大祭奉告祭と大祭本祭、11日、12日には大祭式典を開催。全国会員が集い、御即位を奉祝し、万物万霊に感謝の祈りを捧げた。



新帝陛下御即位を奉祝して、岡野理事長発声のもと万歳三唱

5月8日は、まず御霊地・お山にて、午前9時30分より大祭奉告祭を挙行、岡野英夫理事長をはじめ本部理事参与以上の役員が参列した。続いて岡野理事長が導師となり、五智如来堂にて「万部御法楽」が営まれ、その後、太神社殿前において本祭式典が本部役職員らにより執り行われた。

大祭式典が行われた11日、12日は好天に恵まれ、爽やかな新緑の中、午前11時、鼓笛隊先導により、本部旗、青年部旗に続いて、今回支部長を継承した7名の新支部長を先頭に全国支部旗が入場。そして、鼓笛隊の合同ファンファーレ隊の演奏とともに開式となった。

第1部式典は、国歌、大祭の歌を斉唱、拝礼行事、尊者のみ声拝聴と進み、おみたま櫃奉迎安置の儀では、今年より新たに青年本部長に就任した岡野孝行青年本

部長が先導し、萬霊魂祭塔前に万部供養のおみたま櫃が安置された。

献供の儀では、和服姿の女子青年、女性部により五輪宝塔と萬霊魂祭塔に生花、天茶、お点前のお茶が供えられた。続いて万霊大供養が厳修され、会場が一体となる中、真心を込めた天茶供養が捧げられた。その後、式辞の中で岡野理事長は、「新帝陛下が即位され、日本国民として、この世に生を受けた誇りと責任を深く自覚し、ご皇室の尊さ、有り難さを広く社会に伝承していきましょう」と述べられた。

来賓祝辞では、今年4月、新たに北本市長に就任された三宮幸雄北本市長が、北本市に対する本会の支援・協力への謝辞とともに地元・北本の行事や取り組みを紹介された。また12日は衛藤晟一参議院議員からも祝辞を頂いた。

新帝陛下の御即位を奉祝して、岡野理

事長の発声で万歳を三唱し、第1部が終了した。

第2部直会は、岡野理事長はじめ来賓各位による鏡開き、渡辺孝彦顧問の発声による乾杯で始まり、お山内を賑やかなこども山車が練り歩いた。

奉納演芸では、11日は埼玉教区による解脱音頭、12日は解脱錬心館の少年剣士の力強い演武と神奈川教区によるパトンの演技が披露され、会場は大いに盛り上がった。また、両日ともに青年部からチャンマー・スタディツアーの報告と共に、お山内テントにてまごころ募金を行った。

12日、解脱研修センター4階では来賓直会が行われ、来賓代表の大島敦衆議院議員が祝辞を述べ、新井一徳埼玉県議会議員が乾杯の音頭をとられた。

新帝陛下の御即位の喜びと感動を胸に、会員一同新たな時代の一步を踏み出した。

写真で見る 第174回春季大祭



三宮北本市長より祝辞を頂く



萬霊魂祭塔前で万霊大供養を厳修



式辞を述べる岡野理事長



新支部長ら先頭に入場行進



真心込めて祈りを捧げる



おみたま櫃奉迎安置の儀



女子青年が生花を捧げる



鼓笛隊が大祭を盛り上げる



顧問、理事長が来賓とともに乾杯



奉納演芸、神奈川教区ハトンの披露



青年部による“まごころ募金”

支部認証式

大祭にて支部認証式を執行



5月11日、第174回春季大祭式典に先立ち、午前9時15分より支部認証式が解脱研修センター3階・お浄めの間に厳粛に行われた。

今回は名誉支部長5名と継承支部長7名が認証された。

認証式では、岡野英夫理事長が、名誉支部長、新支部長を認証をした後、辞令を交付した。

名誉支部長認証



群馬・群馬横壁 金子 宏 東京1・牛込 梶原 正代 東京4・下馬 鈴木 盛一 滋賀・長浜神前 今庄 康裕 四国東・香川多度津 藤原 了 東北1・青森藤崎 澁谷 英子

支部継承支部長認証



群馬・群馬横壁 金子 作二 茨城・茨城真壁 坂入 後光 東京1・牛込 梶原 英樹 東京1・八王子 阿曾沼 孝仁 東京4・下馬 大塚 信美 四国東・香川多度津 藤原 紀子

岡野理事長は「新しい御代の中で、新しい天皇陛下を仰ぎつつ、新しい心、そして、目標をもってご活躍いただきたい」と述べられた。



## 新支部長研修・フォローアップ研修

## 支部長としての役目を学ぶ

4月27～28日、御霊地・解脱研修センターにおいて「新支部長研修・フォローアップ研修」が行われ、新支部長7名及び就任5年目となる支部長5名が参加し、役目の自覚を新たにしました。

まず、宮坂保徳教務局長より「2日間の研修の中で支部長としての役目を少しでも学びとっていただきたい」と開会挨拶があり、続いて岡野英夫理事長が「たえず金剛さまを意識し、毎日の生活の中で自分自身を磨き、世のため、人のためにお役に立てるよう神、先祖に祈り、多くの会員を幸せへと導いていただきたい」と、支部長としての基本的なあり方を話された。

皆川朋子理事からは、解脱一世で導かれ、名古屋高蔵支部長を継承するまでの体験に基づいて「支部長の心得」について講話があり、宮坂教務局長より「布教活動方針」について分かりやすく伝えられた後、拝礼行事や三方の持ち方など、作法の基本を実践を交えながら学び直しをした。

その後、「感謝会・支部行事」、「御五法修業」、「三担当者の取り組みについて」、「健康指導」をテーマに各担当者からそれぞれ講義を受けた。

夕食懇親会では新支部長らがこれからの抱負を発表、先輩支部長らと共に互いを励まし合う温かな雰囲気にもまれた。



翌日は、朝6時よりお山参拝とお役目完遂祈願のお百度に始まり、「諸札の意義と心得及び扱い方」、「支部運営と茶話会活動」、「支部の実務」等幅広く学びつつ、お役目の重さと尊さを深く認識した。

続いて、支部運営上の不安や悩みなどを解消するための相談の時間が設けられ、心の負担を和らげた。参加者たちは終わりに、新しい元号となる春季大祭において、共に喜びと感謝をもって再会しようと約束を交わし合った。

## 第158回健康学園コース

## 笑顔あふれる社会づくりを目指し

布教活動方針に基づき、「生命への感謝と報恩の精神を発揮し、自他の健康増進と笑顔あふれる社会づくりに貢献できる人となる」を研修テーマにおき、第158回健康学園コースが4月20～21日、御霊地・解脱研修センターにて開催され、スタッフを含め56名が集まった。

午前10時に開講。小田敏郎相談役が激励の挨拶を述べた後、西脇武利指導員のリードで呼吸体操を行い、参加者は気持ちを整えた。その後、「解脱有食法」をテーマに堀川剛史指導員より学んだ。

昼食後、各班に分かれて、「足心道」、「解脱掌心法」、「体位矯正法」の各指導員のもと実習が行われ、研修生は実生活で活かせるように細やかな指導を受けた。

2日目は、渡辺孝彦顧問が挨拶を述べた後、解脱3分間体操を池松康博指導員のもと学んだ。その後、三浦純教育部長より、「み教えと健康指導」のテーマで講話が行われた。

続いて、体位矯正法と呼吸法の実習の後、各班に分かれてディスカッションがあり、参加者それぞれが実生活でどのよ



うな活動をしているかを共有し合った。

充実した研修を受けた参加者は、実生活に活かすことを誓い合い帰路に着いた。

## 報恩日 特別行事

## 令和元年を祝い全国で万歳三唱



第126代天皇陛下が即位された令和元年5月1日、御即位を奉祝する報恩日が各直轄道場にて盛大に行われた。本部道場では、午後1時より国歌斉唱、拝礼行事、み声拝聴、みさとし拝読、鈴木康之さん（三鷹南支部）の体験発表に続き、休憩をはさんで、出講の西村晴雄常任理事は、「平成の御代を振り返り、金剛さまが遺されたみ教えを基本に感謝報恩、敬神崇祖の生活を心がけていただきたい」と述べた。最後に、新帝陛下の御即位をお祝いして万歳を三唱し、日本が新たな御代を迎えたこの日、参加者一同、喜びと感動を胸に一層の精進を誓い合った。

## 第164回海老名萬靈魂祭塔春季大祭

## 教区の垣根を超えて感謝捧ぐ

神奈川・海老名萬靈魂祭塔前において「第164回海老名萬靈魂祭塔春季大祭」が、解脱会本部主催、神奈川教区主管の下に4月28日正午より開催され、本部出講の木村正則指導員、神奈川教区をはじめ、東京、静岡と教区の枠を超えて多数集い140余名が萬靈に感謝を捧げた。

大祭はまず、女子青年が生花、女性部が天茶をそれぞれ捧げた後、福井恒明神奈川教区長の諷誦文奏上、代表者による焼香に続いて、参加者が心一つに般若心経を唱え、天茶供養を厳修。最後は木村指導員の発声で万歳を三唱した。



第139回米国解脱教会春季大祭

# 神から授かった偉大な力を発揮しよう！

米国解脱教会では、数ヵ月続いた雨季で例年以上の恵みの雨を頂き、緑が一面に広がったカリフォルニア州サクラメント御霊地にて4月14日、第139回米国解脱教会春季大祭を開催した。

五智聖堂内で開催された第1部式典では、アメリカの文化に合わせた新しい勤行法則による拝礼行事の後、万霊大供養が厳かに執り行われた。

続いて、岡野英夫米国解脱教会総長が登壇し、記念講演を行った。岡野総長は講演の中で、「神から授かった靈魂を持つ私たち自身の尊さ」について金剛さまのみ教えにそって分かりやすく説き、最後に「靈魂の持つ偉大な力を生活に発揮して幸せな人生を歩んでほしい」と強調した。

その後、御霊地境内の不動明王前において第2部柴燈護

摩の儀が行われた。通常の護摩木に加え、4月3日に靈界入りされた岡野聖法長老さまのご冥福を祈願する特別護摩も用意され、参集した会員たちは在りし日の長老さまを偲びつつご冥福を心から祈った。

終了後は、境内で咲く桜の花に春の訪れを感じながら、会員の奉仕によって用意された特製チキン丼やホットドッグなどに舌鼓を打ち、大祭の余韻を楽しんだ。



東京第4教区・家族スクール

# 新宿御苑でお花見会



東京第4教区では4月7日、家族スクールを開催。青年講座に参加した後、新宿御苑にてお花見会を行った。

当日は、子供13名を含む79名が参加し、「楽しい一日にしよう」との宮崎達郎教区長の挨拶の後、満開の桜の下、芝生の上でお弁当を食べた。

昼食後は、こども会担当や青年部が企画した「〇×クイズ」等で楽しみ、おやつタイムや景品が当たる「名前でビンゴ」で大いに盛り上がった。自然の中で親子孫と世代を超えて懇親を深めることができた有意義な時間となった。

東京第7教区・教区の集い

# 教区が団結し盛大に開催



東京第7教区では4月29日、御霊地にて清掃奉仕の後、第8回目となる「教区の集い」を開催。

「教区は大きな家族」をテーマに、教区の専門部が運営した。180名が集った当日、中央棟にて、女性部は喫茶店、健康指導部は足心道と体位矯正法、こども会と青年部はお山でレクリエーションを行い、修法部は全体の補佐を担当。参加者はそれぞれを自由に巡り、楽しんだ。

昼食後は、鼓笛隊演奏、武笠一男教区長の講話の後、全員でミニゲーム、「盆ダンス」を踊り、大抽選会で終了。共々に和やかなひと時を過ごした。

愛知教区・女性大会

# 交流と親睦をはかり



愛知教区では4月21日、「女性部会員の交流と親睦を図る」を目的に、豊橋八町支部において女性大会を開催し、本部より武市万苗指導員が出講、34名が参加した。

講話に立った武市指導員は、「健康な心と体で微笑みの日々を送るための心構えについて」をテーマに述べた。その中で、夫がガンを患うも医療の進歩と神先祖の加護により治癒した経緯に触れ、仕事で忙しかった夫に不満を抱えていた反省と共に夫の存在の大切さを実感した体験を語り、最後に「微笑みの日々を送るには、常に報恩感謝の心を持つことが大切」と述べ、会場の参加者から賛同の拍手が贈られていた。

第16回 教区選抜

# 実践作文コンクール

- テーマ／ アニメ「金剛さま—立教からの歩み—」を観て感じたこと、自分がしようと思ったことなど、素直な気持ちを作文にしてください。
- 応募対象／ 本会会員子弟（小学生）
- 原稿枚数／ 各作品400字詰め原稿用紙3枚以内
- 応募要項／ 低学年（1・2年） 中学年（3・4年） 高学年（5・6年）に分けて各教区で選抜し、各学年の最優秀作品1部（計3部）をご応募ください。
- 締め切り／ 各支部、教区にお問い合わせください。
- 発表・表彰式／ 11月28日（木）

第139回「解脱金剛御生誕祭」

●お問い合わせ／ 解脱会布教部 TEL 03-3353-3706

※ 詳細は6月度本部通信をご覧ください。